2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名	株式会社リード	上場取引所	東・福
コ ー ド 番 号	6982	URL	https://www.lead.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 取締役社長	（氏名）	岩崎　元治
問合せ先責任者	（役職名） 取締役総務部長	（氏名）	田口　英美　　TEL　048-588-1121
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	3,167	77.5	41	―	51	―	26	―
2026年３月期中間期	1,783	△12.2	△218	―	△189	―	△203	―

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円　銭	円　銭
2027年３月期中間期	10.12	―
2026年３月期中間期	△78.85	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	8,457	2,632	31.1
2026年３月期	8,705	2,545	29.2

(参考) 自己資本　2027年３月期中間期　2,632百万円　　2026年３月期　2,545百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	―	―	10.00	10.00
2027年３月期	―	―			
2027年３月期(予想)			―	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	6,660	29.5	80	―	80	―	60	―	23.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

「１株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2026年９月30日現在の発行済株式数(自己株式を除く)を使用しております。

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,632,960株	2026年３月期	2,632,960株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	32,444株	2026年３月期	43,244株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,593,788株	2026年３月期中間期	2,582,929株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 6
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善の下、緩やかな回復基調が続いたものの、資源価格の高騰、米国の通商政策や為替相場の影響による景気の下振れリスクの高まり等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の売上高に大きな影響を与える株式会社ＳＵＢＡＲＵの世界生産台数は、前年同月比４月が9.4％減、同５月が19.8％減、同６月が12.3％減、同７月が8.9％減、同８月が0.7％増、同９月が17.2％増となりました。

このような経済環境の中で当中間会計期間の売上高は、自動車用部品部門において、前期に量産を開始した部品の受注が増加したことや、電気料・原材料価格上昇に対する適正な価格転嫁対応も奏功し、3,167百万円(前年同期比77.5％増)となりました。

損益面につきましては、電気料や原材料価格上昇等圧迫要因があったものの、人員配置の適正化や物流コストの効率運用等生産性が改善したことに加え、適正な価格転嫁対応も奏功し、営業利益は41百万円(前年同期は営業損失218百万円)となりました。

営業外収益は受取配当金21百万円、受取賃貸料17百万円、スクラップ売却益８百万円等により50百万円、営業外費用は支払利息33百万円等により40百万円を計上し、経常利益は51百万円(前年同期は経常損失189百万円)となりました。また、特別損失は固定資産売却損２百万円、固定資産除却損１百万円を計上し、その結果、中間純利益は26百万円(前年同期は中間純損失203百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、前期に量産を開始した部品の受注が増加したことや、電気料・原材料価格上昇に対する適正な価格転嫁対応も奏功し、3,046百万円(前年同期比85.3％増)となりました。

損益面につきましては、電気料や原材料価格上昇圧迫要因があったものの、人員配置の適正化や物流コストの削減等生産性が改善したことに加え、適正な価格転嫁対応も奏功し、セグメント利益(経常利益)は、59百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)218百万円)となりました。

②自社製品

当セグメントの売上高は、駐輪事業における駅前施設等の受注増から、121百万円(前年同期比8.2％増)となりました。

損益面につきましては、売上高が増加したものの、原材料価格や外注加工費の上昇等の影響により、セグメント損失(経常損失)は19百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)４百万円)となりました。

③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は、11百万円(前年同期比18.3％減)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しています。

④その他

電子機器部門は2025年６月に撤退しました。

前年同期売上高は28百万円、前年同期セグメント利益(経常利益)は19百万円でした。

（２）財政状態に関する説明

当中間会計期間末における総資産は、前期末比248百万円減少し8,457百万円となりました。

・資産

流動資産は、仕掛品が46百万円増加し、現金及び預金が217百万円、受取手形及び売掛金が44百万円、電子記録債権が27百万円、原材料及び貯蔵品が15百万円、その他のうち未収入金が12百万円及び未収消費税等が62百万円減少したこと等から352百万円減少し2,507百万円となりました。

固定資産は、機械及び装置が11百万円、リース資産が37百万円増加し、建物が27百万円、工具、器具及び備品が53百万円減少したこと等から有形固定資産は15百万円減少し4,722百万円となり、また、投資有価証券が119百万円増加したこと等から投資その他の資産は120百万円増加し1,226百万円となりました。その結果、固定資産全体では104百万円増加し5,950百万円となりました。

・負債

流動負債は、未払金が43百万円、未払法人税等が20百万円、賞与引当金が65百万円、その他のうち未払消費税等が70百万円、契約負債が116百万円増加し、支払手形及び買掛金が103百万円、短期借入金が254百万円減少したこと等から34百万円減少し2,684百万円となりました。

固定負債は、その他のうちリース債務が35百万円及び繰延税金負債が36百万円増加し、長期借入金が227百万円、その他のうち長期契約負債が139百万円減少したこと等から300百万円減少し3,140百万円となりました。その結果、負債全体では335百万円減少し5,825百万円となりました。

・純資産

純資産は、配当金の支払が25百万円、中間純利益が26百万円となり利益剰余金が０百万円、その他有価証券評価差額金が80百万円増加したこと等から87百万円増加し2,632百万円となりました。これにより自己資本比率は31.1％となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,532,909	1,315,621
受取手形及び売掛金	820,791	776,485
電子記録債権	32,805	5,563
製品	39,145	34,606
仕掛品	28,636	75,616
原材料及び貯蔵品	222,149	206,282
その他	183,477	92,830
流動資産合計	2,859,916	2,507,005
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,225,568	1,197,767
構築物（純額）	27,884	31,707
機械及び装置（純額）	522,756	534,144
車両運搬具（純額）	3,775	8,496
工具、器具及び備品（純額）	594,797	541,674
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産（純額）	666,623	703,746
建設仮勘定	38,399	46,614
有形固定資産合計	4,737,674	4,722,020
無形固定資産		
ソフトウエア	2,102	1,779
無形固定資産合計	2,102	1,779
投資その他の資産		
投資有価証券	995,629	1,115,476
その他	110,668	111,497
投資その他の資産合計	1,106,298	1,226,974
固定資産合計	5,846,075	5,950,774
資産合計	8,705,991	8,457,779

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	457,088	353,285
短期借入金	1,596,329	1,341,472
未払金	134,489	177,957
未払法人税等	6,848	27,204
賞与引当金	20,000	85,000
その他	504,906	699,962
流動負債合計	2,719,661	2,684,881
固定負債		
長期借入金	1,873,129	1,645,785
退職給付引当金	91,775	86,531
資産除去債務	50,966	51,011
その他	1,424,984	1,357,050
固定負債合計	3,440,856	3,140,379
負債合計	6,160,517	5,825,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	216,486	216,691
利益剰余金	327,164	327,529
自己株式	△23,998	△18,004
株主資本合計	1,177,892	1,184,456
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	406,605	487,085
土地再評価差額金	960,976	960,976
評価・換算差額等合計	1,367,581	1,448,061
純資産合計	2,545,473	2,632,518
負債純資産合計	8,705,991	8,457,779

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	1,783,980	3,167,315
売上原価	1,730,128	2,816,437
売上総利益	53,852	350,878
販売費及び一般管理費	272,765	309,421
営業利益又は営業損失（△）	△218,913	41,457
営業外収益		
受取利息	801	1,139
受取配当金	22,520	21,793
受取賃貸料	19,989	17,171
助成金収入	800	－
スクラップ売却益	15,932	8,819
その他	1,345	1,638
営業外収益合計	61,390	50,564
営業外費用		
支払利息	26,805	33,107
賃貸費用	5,561	5,501
その他	100	2,163
営業外費用合計	32,467	40,772
経常利益又は経常損失（△）	△189,990	51,248
特別利益		
固定資産売却益	3,504	－
受取保険金	－	575
特別利益合計	3,504	575
特別損失		
固定資産売却損	695	2,742
固定資産除却損	16,075	1,338
投資有価証券売却損	4	－
特別損失合計	16,775	4,081
税引前中間純利益又は 税引前中間純損失（△）	△203,261	47,742
法人税、住民税及び事業税	410	21,480
法人税等調整額	△8	△0
法人税等合計	401	21,480
中間純利益又は中間純損失（△）	△203,663	26,261

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△203,261	47,742
減価償却費	197,835	346,403
株式報酬費用	3,449	3,107
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,800	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	52	△5,244
賞与引当金の増減額（△は減少）	△10,000	65,000
受取利息及び受取配当金	△23,322	△22,933
支払利息	26,805	33,107
助成金収入	△800	－
スクラップ売却損益（△は益）	△15,932	△8,819
投資有価証券売却損益（△は益）	4	－
受取保険金	－	△575
有形固定資産除売却損益（△は益）	13,266	4,081
売上債権の増減額（△は増加）	127,892	71,734
棚卸資産の増減額（△は増加）	△25,795	18,853
仕入債務の増減額（△は減少）	21,267	△103,802
預り金の増減額（△は減少）	△185	270
契約負債の増減額（△は減少）	－	116,454
長期契約負債の増減額（△は減少）	－	△139,397
未収消費税等の増減額（△は増加）	△84,277	62,414
未払消費税等の増減額（△は減少）	－	70,757
その他	61,976	1,101
小計	86,175	560,255
利息及び配当金の受取額	23,186	22,832
利息の支払額	△26,195	△33,112
助成金の受取額	800	－
スクラップ売却による収入	15,932	8,819
保険金の受取額	－	575
法人税等の支払額	△820	△820
法人税等の還付額	5,886	6,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,965	565,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	－	10,000
投資有価証券の取得による支出	△3,071	△2,964
投資有価証券の売却による収入	23	－
有形固定資産の取得による支出	△219,777	△201,549
有形固定資産の売却による収入	6,025	3,871
貸付けによる支出	△500	△3,500
貸付金の回収による収入	2,784	3,805
保険積立金の積立による支出	△4,959	△4,959
差入保証金の差入による支出	△508	△520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△219,983	△195,816

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	△200,000	－
長期借入れによる収入	790,133	295,000
長期借入金の返済による支出	△451,830	△777,199
リース債務の返済による支出	△53,945	△68,770
配当金の支払額	△25,539	△25,553
財務活動によるキャッシュ・フロー	58,818	△576,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△56,199	△207,287
現金及び現金同等物の期首残高	1,385,501	1,522,909
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,329,301	1,315,621

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他(注)３	合計
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	計		
売上高						
一時点で移転される財	1,554,464	94,679	―	1,649,144	28,111	1,677,256
一定の期間にわたり移転される財	89,321	17,402	―	106,724	―	106,724
顧客との契約から生じる収益	1,643,786	112,082	―	1,755,869	28,111	1,783,980
セグメント利益又は損失(△)	△218,481	△4,939	14,285	△209,134	19,144	△189,990

（注）１．「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
２．「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、中間損益計算書の経常損失と一致しております。
３．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子機器事業であります。

Ⅱ　当中間会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	計
売上高				
一時点で移転される財	2,753,596	98,631	―	2,852,228
一定の期間にわたり移転される財	292,450	22,636	―	315,087
顧客との契約から生じる収益	3,046,046	121,268	―	3,167,315
セグメント利益又は損失(△)	59,558	△19,979	11,669	51,248

（注）１．「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
２．「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、中間損益計算書の経常利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

前中間会計期間において「その他」に含まれていた電子機器事業について、当該事業から撤退したことに伴い、当中間会計期間より「その他」の区分を廃止しております。